



準指検定を振り返って

石 狩 中 島 加 奈

私は、今シーズン五度目にしようやく準指導員検定に合格することができました。

道南の小さな町で育ち、スキーを始めたのは20代前半のスキーブームの頃でした。

上達は二の次、ファッション第一という軽々しさでしたが、友人達と過ごした楽しい思い出がありました。以来、年に数回のファミリースキーをするだけでしたが、山スキーが趣味の夫が何時まで経っても上達しない私に、スキースクールに通うよう勧めてくれました。

「パラレルターンさえできれば」と軽い気持ちで始めたのですが、基礎スキーの奥深さにすっかり夢中になり、長い冬が「あっという間に春になる」そんな7年を過ごしました。

その後、5年もの時間を費やした原因を振り返ってみますと、受検までに習得すべき基礎的な技術の理解不足に尽きると思います。

外足主導、外向傾姿勢の重要性、プルークボーゲン、横滑りが具体的に実践種目へどのようにつながるのか、系統立てて考え、滑ることが全くできていなかったのです。

それ以来、基本的な技術の練習を中心に滑り込み、今シーズンは接続していなかった何かがスムーズに動けるようになり、迷いや悩みが消え、滑りにも安定感や重量感が少しずつ身についてきたように感じられました。

そして、念願の合格。本当に驚くほどのスローペースに、年々不安や焦りが募る日々でした。

しかし、有り難いことに年代を超えて信頼のおける方たちと出会い、技術を一つずつ習得していく達成感や充実感は、合格に届かずともスキーとじっくり向き合えた（長すぎですが・・・）貴重な財産となりました。

気が付けばシニア世代となりましたが、これからが本当のスタートだと思っています。

私事ですが、昨年道東の町に転居し、世界遺産の知床、阿寒国立公園、百名山で有名な山など、雄大な自然に囲まれた環境で、夏は登山を楽しんでいます。



羅臼岳登頂1661m (2018・6月)

また周辺には、流水を望める斜里町海別スキー場、ナイター設備もある清里町緑スキー場や観光地の阿寒湖畔スキー場など、個性あるスキー場があり、今から楽しみにしております。

これからは、指導者として研鑽を積み地域や子供達のスキーボランティアとして勉強できる機会を楽しみにしております。

最後になりますが、長い間、熱く温かいご指導をくださった石狩連盟の先生方と、応援し支えてくださった仲間の皆様に心から感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。